ため負担を抑えるために当該道路で送迎の乗車が行われており二重駐停車が発生するなどし、交通事故の危険性が常にある状況である。

よって当市議会は、県内において石垣市民への不公平の解消と利便性向上及びターミナルビル前道路の安全性確保のためにも、那覇空港同様に新石垣空港駐車場利用の無料時間の速やかな設定を強く求める。

波平沖縄県空港課長と意見書の手交をする石垣市議団

（結果）賛成多数で可決

○提出先
沖縄県知事
（参考送付）
沖縄県議会議長、
地元選出県議会議員

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

提出者　平良　秀之

要旨

文部科学省「学校基本調査」によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、10年間で、特別支援学校については学校数が約11％増加、児童生徒数は約14・3％増加、特別支援学級は1・6倍に増え児童生徒数は2・1倍に増加している。また通級による指導を受けている児童生徒数は約2・6倍に増え、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。

石垣市においても特別支援学級内で生徒が多い状態で複式学級の状況が生じたり通常学級での共同学習において担任への負担が増加している。このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。また今日、共生社会の形成に向けて、「障害者の権利に関する条約」に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育のさらなる拡充が必要である。

よって政府においては、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、以下の事項について財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

記

1　特別支援教育支援員の適切な配置
2　特別支援教育コーディネーターの適切な配置
3　看護師等の専門家の適切な配置
4　特別支援学校のセンター的機能の強化
5　特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置
6　特別支援学校教諭免許状の取得支援

（結果）全会一致で可決

○提出先
財務大臣・文部科学大臣

築文部科学副大臣と意見書の手交をする石垣市議団

登野城漁港内サクラ口（グチ）航路の早急な幅員拡張と浚渫を求める意見書

提出者　仲間　均

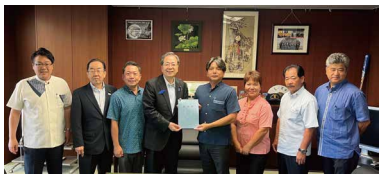
要旨

登野城漁港のサクラ口航路は、登野城漁港から漁船が石垣島東近海へと、安全に航行できるよう昭和60年度から61年度にかけて航路延長1374m、幅40mを整備しております。

サクラ口航路は堆積した砂利やサンゴで40mあった水路の幅が狭いところで10mしかなく、全体的に水深が浅く、浅瀬や暗礁が多くあることから、航路周辺での漁船や遊漁船等の海難事故も発生しております。

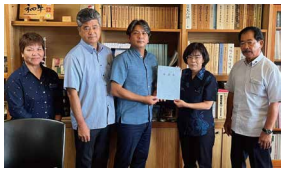
現に去年の9月には、八重山漁協所属の漁船が座礁、転覆する海難事故も発生しております。サクラ口航路を利用する船舶航行の安全・安心を確保するため、早急な幅員の拡充が求められております。

よって、当市議会は国と県に対して登野城漁港サクラ口航路の幅員拡張と浚渫を早急に実施するよう強く要請する。



斉藤国土交通大臣と意見書の手交をする石垣市議団

藤田水産庁次長と意見書の手交をする石垣市議団



前門沖縄県農林水産部長と意見書の手交をする石垣市議団

（結果）全会一致で可決

○提出先
農林水産大臣、国土交通大臣、
水産庁長官、沖縄県知事